

この説明書は、服用前に必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

第②類医薬品

痛み・熱・生理痛《イブプロフェン配合》 [解熱鎮痛薬]

スパロミンエース

痛みや熱は、体内で作られるプロスタグランジンという物質によって起こります。イブプロフェンは、この物質が体内でできるのを効果的に抑え、痛み・熱にすばやく対処して、すぐれた効きめをあらわします。

スパロミンエースは、イブプロフェン配合の非ピリン系・非アスピリン系の鎮痛解熱薬です。イブプロフェンのほかに、その鎮痛・解熱効果を高めるアリルイソプロピルアセチル尿素と無水カフェインを配合した製剤です。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。
- * (4) 出産予定日 1 2 週以内の妊婦

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗り物酔い薬

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気があらわれることがあります)

4. 服用前後は飲酒しないでください

5. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (7) 次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循 環 器	動悸、息切れ
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中での痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

便秘、下痢、眠気

4.5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って、医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能・効果

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	2錠	3回を限度とする
15才未満の小児	服用しないこと	

【用法・用量に関連する注意】

(1)用法・用量を必ず守ってください。

(2)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながります。)

(錠剤の取り出し図)



成分と働き

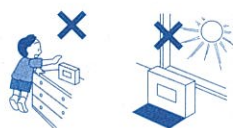
1日量(6錠)中に次の成分を含んでいます。

成分	含量	働き
イブプロフェン	450mg	痛みと熱の原因となる物質ができるのを抑え、痛み・熱にすぐれた効果をあらわします。
アリルイソプロピルアセチル尿素	180mg	鎮痛・解熱効果を高める働きがあります。
無水カフェイン	240mg	解熱・鎮痛効果を高める働きがあります。

添加物としてトウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、CMC-Ca、ステアリン酸Mg、メタケイ酸アルミン酸Mg、セルロースを含んでいます。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は服用しないでください。



副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

お問い合わせ先

本剤の服用により、何か変わった症状があらわれるなど、お気付きの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

三宝製薬株式会社 お客様相談室 電話03-3952-0100
月～金曜日 9:00～17:00(祝祭日を除く)



製造販売元
三宝製薬株式会社

東京都新宿区下落合2-3-18